

平成28年度第1回砺波市総合教育会議 概要報告

- 1 開催日時 平成28年6月29日(水)午後3時～4時30分
- 2 開催場所 砺波市役所3階小ホール
- 3 出席者 夏野市長、齋藤教育委員長、小櫻教育委員長職務代理者、林教育委員、信田教育委員、山本教育長
- 4 出席職員 横山企画総務部長、三部教育委員会事務局長、北島教育委員会事務局次長、畑教育委員会事務局次長、島田企画調整課長、島田教育総務課長、構生涯学習・スポーツ課長、中島砺波・庄川図書館長、河合企画調整課主幹、石黒教育総務課主幹
- 5 議 事 (1) 新砺波市教育大綱について
(2) 教育の条件整備など重点的に講ずべき施策について
(3) その他
- 6 主な意見
 - (1) 新砺波市教育大綱について
 - ・ 幼児教育・保育の推進について、認定こども園ができ、民営の保育所ができるのとどこかの保育所の園児が少なくなることが考えられる。
子どもにとっては、たくさんの集団の中で生活していくのが良いのか。または、家族的な小さな中が良いのか。簡単に結論は出ないが、この5年間で注意して見ていかなければいけないと思う。
保護者にとってはどれがベストで、子どもにとっては何がベストで、地域住民にとってはどうか。
バランスを取るのは、難しいと思われるが、この5年間に変化は出てくると思う。
 - ・ 発達障害を持つ子どもが顕在化している。県全体で特別支援学級の子どもが平成16年580人、10年経った平成26年には1,265人となった。また、これまでは修学先は県で決めていたが、平成25年からは市教育委員会で判断し決定することとなった。さらに、就学先は、保護者の意見を最大限に尊重するとなっている。
そこで、専門的な特別支援に詳しい方が、市教育委員会の中にも居ただけだと良いのではないか。
子どもへの配慮や保護者の対応、保育所・幼稚園への助言、特別支援学校との連携も大事ではないか。
 - ・ 学校施設の設備と充実の中で、職員のパソコンの更新をしていただきました

い。また、児童生徒用のパソコンについては、タブレット型パソコンの導入をお願いしたい。タブレット型パソコンは起動が早いなど今までと違い対応性がある。

- ・優秀なスポーツ選手を発掘して、競技力向上講習会や指導者講習会等を開催し根本を上げていくことが、砺波市の競技力の向上に繋がるのではないかな。
- ・新総合計画後期計画と整合性を図るため、市が取り組んでいる「確かな学力の定着」や「奨学金制度の充実」について盛り込んでどうか。

(2) 教育の条件整備など重点的に講ずべき施策について

- ・小規模校同士の交流や小規模校が大規模校に訪問するなど刺激を与える配慮があっても良いのではないかな。
- ・チューリップフェアではチューリップの踊りを踊っている。庄川地区も庄川観光祭等で庄川音頭を踊る。ふるさと教育の中で、地元の踊りを踊れるようにならないものかな。
- ・文化財について、増山城跡については、増山地区の方が地域おこしとして行っている。文化財は、地域の方で守っていただくことが、大事ではないかなと思う。それに教育委員会が応援する形が良いと思う。

(3) その他

特になし